

[ペルシア戦争]

・前6世紀半ば…小アジアのリディアをアケメネス朝ペルシアが滅ぼす。

→アケメネス朝はイオニア植民市に圧力をかけ、僭主政へ移行させようとする。

→前500年…**イオニア植民市の反乱**

⇒これに対してアテネは民主制擁護のためにイオニア植民市を援護

→アケメネス朝ダレイオス1世はギリシア征服に着手。

→前500年…**ペルシア戦争**(ギリシア vs アケメネス朝)

(1)**マラトンの戦い**…ギリシア本土に上陸したペルシア軍をアテネ重装歩兵軍が
ミルティアデスの指揮のもとで勝利。

・テルモピレーの戦い…アケメネス朝クセルクセス1世の大群に
レオニダス率いるスパルタ軍が全滅した戦い。

(2)**サラミスの海戦**…テミстокレス率いるアテネ海軍が、ペルシア軍を破った戦い。
三段櫂船が活躍し、**無産市民**の発言力が高まった。

(3)**プラタイアの戦い**…アテネ・スパルタ連合軍がペルシア軍破ってペルシア戦争での
勝利を決定づけた戦い。

⇒前449年…カリアスの和約で終戦。

〈戦争の影響〉

・**デロス同盟**の成立…ペルシアの再攻に備えた軍事同盟で指導権はアテネが握る。

⇒これに不満を持つポリスが…

・三段櫂船の漕ぎ手を務めたアテネの無産市民の政治的発言力が強くなる。

→アテネの将軍**ペリクレス**が民主制を完成させる。